



# 三気の門

## PORTAL SANKI

NO.40  
2026.3.2  
文責：佐藤正一

## 思春期の親子関係はどうですか?その2

### ～反抗期の我が子への声かけ方法～

PTAが出版している「子とともに ゆうゆう」に、親に言われると嫌な気持ちになる内容がランキングで1位から5位まで示されていました。それによると…。

- 第1位 まだやっていないことを先に注意される。
- 第2位 勉強や成績のことを言われる。
- 第3位 スマホやゲームのことを言われる。
- 第4位 人と比べられる。
- 第5位 話を最後まで聞いてもらえない。



「痛〜っ!」と私は思いました。私も娘二人によく言っていた内容です。親からすると子供には失敗して欲しくないから、ついつい嫌われることを言ってしまう。小さくて素直だった子供に急に反抗的な態度を取られたら、親もつい「かーっ」となって、感情的になってしまふのも止むを得ません。しかし、前回でも書いたように、脳の発育が未発達なことからくる反抗的な態度は子供のせいではありません。

ここはやはり、親の方が思春期の子供の状態を理解したうえで、関わっていくことがよいかと思えます。

子供たちがどうして欲しいか、これもランキング形式で載っていました。

- 第1位 そっとしておいてほしい。
- 第2位 やりたいことを応援してほしい。
- 第3位 自分の意見をきいてから決めてほしい。
- 第4位 ほめてほしい。
- 第5位 自分の好きなことに関心をもってほしい。

ポイントはどうか「聞く」のようです。ひたすら子供の言うことを聞いてあげる。これには忍耐が必要です。つい(何言ってるのだ)(それは甘いぞ)(そんな厳しい世界でやっていけるはずがないだろう)などと子供の話をさえぎって、反論、お説教をしてしまうのを「ぐっ」と我慢することから、対話は始まります。そして子供には、「どんな時もあなたの味方だよ」という思いを伝えることです。子供もそれなりに考えて、時間はかかってもきっと正しい判断をするはずですから。